

留萌のニシン漁労

～旧留萌佐賀家漁場を中心に～

- ◇講師 福士 廣志 氏 (ふくし ひろし)
◇日時 平成29年2月8日(水) 午後2時～4時
◇会場 かでる2・7ビル7階 710会議室 (札幌市中央区北2条西7丁目)

《要旨》

ニシン漁は北海道を代表する産業として、日本の経済を支えてきた。留萌市も江戸時代から蝦夷地有数の漁場であり、明治から昭和30年まで千石場所として栄えてきたが、往時のニシン漁を物語るものはほとんどが失われてしまった。「旧留萌佐賀家漁場」には建物群、景観、漁労具、ニシン漁に関する文書等が奇跡的に残されており、それらから留萌のニシン漁について考える。

《プロフィール》

- 昭和28年 ・青森生まれ
・明治大学卒業
・留萌市海のふるさと館学芸員
・同館長
・現在留萌市教育委員会生涯学習課嘱託

《主な著書》

「新留萌市史」共著・「留萌いまむかし」・「留萌川の変遷」共著・「留萌市ニシン漁撈調査報告」編著 他

《主な所属》 日本考古学協会



- 受講料 700円 (保護協会会員500円)
申込方法 電話・FAX・メールで事前申込が必要、定員90名 (定員になり次第締切)
申込先 北海道文化財保護協会事務局 電話・FAX 011-271-4220
Eメール bunho@abelia.ocn.ne.jp

主催 北海道文化財保護協会